

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年4月分)

2023年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[ボシュニャク系与野党による国有資産問題に関する共同声明\(19日\)](#)

●[シュミット上級代表によるBH連邦政府発足等に係るボン・パワー行使\(27日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[ノバリッチBH連邦首相に対する有罪判決\(5日\)](#)

●[BH連邦政府の発足\(26日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ビシュコビッチRS首相の訪中\(5日～12日\)](#)

●[RS与党による計画書の署名\(24日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[EUFORアルテア・ミッションへのオランダによる派兵再開\(6日\)](#)

●[ヘレズ副首相兼国防大臣の訪米\(10日～16日\)](#)

(2) 二国間関係

●[アルバレス・スペイン外相のBH訪問\(13日\)](#)

●[アリエフ・アゼルバイジャン大統領のBH訪問\(13日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[ツバキ・ナカシマ社コニツツ市工場拡張式典\(5日\)](#)

●[ボシュニャク民生大臣表敬\(20日\)](#)

●[コナコビッチ外務大臣表敬\(26日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●ボシュニャク系与野党による国有資産問題に関する共同声明(19日)

19日、ベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバー及びコムシッチ同クロアチア系メンバーの他、イゼトベゴビッチSDA党首、ニクシッチSDP党首、コナコビッチNiP党首、フォルトNS党首等、主にボシュニャク系を中心とする与野党党首により、国有資産問題に係る共同声明への署名が行われた。

本声明は、国有資産をエンティティで管理し、登記変更を一時的に行うとするRSの動向を批判し、国有資産の管轄権は国家に帰属する旨述べたもの。

●OHR前での抗議集会(26日)

26日、OHR前でボシュニャク系市民を中心とした抗議集会が実施された。本集会はシュミット上級代表の政策を批判、同代表の辞任を求めるとともに、ドディックRS大統領による分離主義的政策を罰するよう求めるもの。3月31日にも同様の集会が行われたが、前回に比して参加者は半数程度にとどまり、特段の衝突や混乱なく、約1時間半で散会となった。

●シュミット上級代表によるBH連邦政府発足等に係るボン・パワー行使(27日)

27日、シュミット上級代表はボン・パワーを行使し、連邦政府発足プロセスを進めるための決定を下した(一時的な措置として、連邦政府発足に必要な副大統領の同意数の引き下げ等)。

また、恒久的措置として連邦憲法案を提示し、1年後までに連邦議会が自ら連邦憲法の改正を行わない場合には、上級代表が提示する憲法改正案が発効することとした。

さらに、選挙の公正性及び透明性確保等の

観点から、選挙及び公務員の贈収賄罪を含めるようBH刑法、連邦刑法、RS刑法を改定した。

(2) エンティティ、特別区

ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●ノバリッチ連邦首相に対する有罪判決(5日)

4月5日、2020年のコロナ禍における中国製人工呼吸器の調達(約540万ユーロ)に関連する汚職に関与したとして、ノバリッチBH連邦首相に対して第一審で懲役4年の判決が言い渡された。中国製の人工呼吸器100台の調達に関して、BH連邦政府は非常事態宣言の発出を理由に法に基づいた公共調達手続きを行わず、「スレブレナ・マリナ」社との直接交渉により調達業者を選定したとされる。

ノバリッチ首相は、今般の判決は政治的背景で行われたと主張し、無罪を勝ち取るため戦い続ける旨強調した。

●BH連邦政府の発足(28日)

28日、BH連邦下院において臨時会合が開催され、ニクシッチ社会民主党(SDP)党首を首班とする新BH連邦政府が承認され、同日をもって成立した。なお、今次緊急会合は、前日(27日)のシュミット上級代表によるボン・パワー行使を受けて開催されたもの。

連邦政府に関しては、2018年のBH総選挙後にクロアチア民主同盟(HDZ)がクロアチア系の正当な代表者選出のための選挙法改正を求め、連邦政府発足プロセスを妨害していたことから、2014年の総選挙後に発足した連邦政府が2018年10月から暫定的に行政政府を担っており、BH連邦は4年7ヶ月ぶりに政府を得ることとなった。

イ スルプスカ共和国(RS)

●ビシュコビッチRS首相の訪中(5日～12日)

5日から12日、ビシュコビッチRS首相は中国を訪問し、投資関係企業、エネルギー及びインフラ関係企業関係者を中心に複数の会談を実施したほか、海口市で開催された第3回中国国際消費品博覧会に出席した。訪問中、ビシュコビッチ首相は特にインフラ・エネルギー関係分野のプロジェクトについて関係者と協議し、「一帯一路」イニシアティブの重要性について強調した。

●トリビッチ氏による新野党の設立(22日)

野党・民主進歩党(PDP)元副党首であり、2022年10月のRS大統領選挙の野党候補であったイエレナ・トリビッチ氏は、新党「国民戦線」を設立し、4月22日に正式に政党として登録した。

トリビッチ党首は、新党において選挙不正や偽りの愛国主義に立ち向かい、セルビア系の団結を目指すとしている。

●RS与党による計画書の署名(24日)

24日、RS与党は、ボシュニャク系与野党の発出した国有資産問題に係る共同声明を受け、今後のRSの活動に関する計画書を発表した。同計画書は21の項目からなり、BH憲法裁判所からのセルビア系判事の撤退要請、BHのNATO加盟への不支持継続、RS選挙法の採択、ボン・パワーの不履行、ウクライナ情勢に関する中立及び対ロシア制裁の導入拒否等が含まれている。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●EUFORアルテア・ミッションへのオランダに

よる派兵再開(6日)

6日、オランダによりEUFORアルテア・ミッションへ派遣が決定されたオランダ軍兵士150名がBHに到着した。オランダは2012年よりEUFORへの派兵を停止していたが、2022年に再開の決定をしており、今般の派兵は右決定によるもの。

EUFORはBHの治安維持やBH軍のキャパシティ強化、BHのNATO加盟支援を目的とし、国連主体によるSFORミッションを引き継ぐ形で駐留。BHの治安状況の改善により縮小傾向(当初7000名→2021年時点で600名)にあったが、ロシアによるウクライナ侵略を受けて2022年に500名の増派が行われた。

●ヘレズ副首相兼国防大臣の訪米(10日～16日)

10日～16日、ヘレズ副首相兼国防大臣は米国を訪問し、カール米国防次官(政務担当)をはじめとした米国政府関係者と会談したほか、世銀・IMF関係者との会談を複数実施。米軍のBHにおけるプレゼンス強化の重要性を指摘するとともに、BHはNATO加盟に強く取り組んでいくとの姿勢を改めて強調した。

ヘレズ大臣は、IMF及び世銀との会談において、諸機関からの融資を受けて保健・行政等における改革を履行することが重要であると述べた。また、BH経済についてはインフレ傾向が続くものの、プラス成長が続くとの見方を示した。

(2) 二国間関係

●アルバレス・スペイン外相のBH訪問(13日)

13日、アルバレス・スペイン外相がBHを訪問し、大統領評議会3メンバー、クリシュト閣僚評議会議長、コナコビッチ外相等と会談した。スペインが本年7月からEU議長国に就任す

るにあたり、アルバレス外相はBHを含む西バルカンへのEU拡大をプライオリティとして改革を後押しする旨強調した。さらに、今般の訪問では、両国外務省間の欧州統合に係る協力に関するMOUが締結された。

●アリエフ・アゼルバイジャン大統領のBH訪問(13日)

13日、アリエフ・アゼルバイジャン大統領がBHを訪問し、BH大統領評議会3メンバーと会合を実施した。会合では、両国間の戦略的パートナーシップに係る共同宣言への署名が実施されたほか、両国より特にガス供給及びパイプライン建設に強い関心が示された。

なお、アリエフ大統領の訪問に先立ち、両国閣僚の相互訪問が実施され、自然災害対策に係る合意、商工会議所間の協力に係るMOU等への署名が実施された。

●ビルストロム・スウェーデン外相のBH訪問(20日)

20日、ビルストロム・スウェーデン外相がBHを訪問し、BH大統領評議会3メンバー及びコナコビッチBH外相と会談した。ビルストロム外相は、EU議長国としてBHのEU加盟を引き続き支援し、ロシア制裁への参加を含むEUの外交政策への調和を期待すると述べたほか、RSの分離主義的動向への懸念を表明した。

(3)日・BH関係

●ツバキ・ナカシマ社コニッツ市工場拡張式典(5日)

5日、杵淵駐BH日本大使は、コニッツ市のツバキ・ナカシマ社によるコニッツ工場の拡張記念式典に参加した。同式典には、コムシッチBH大統領評議会クロアチア系メンバー及びチャティッチ・コニッツ市長も参加し、ツバキ・ナカシマ社の工場拡張を祝した。



(写真:式典の様子)

●ボシュニャク民生大臣表敬(20日)

20日、杵淵駐BH日本大使はボシュニャク民生大臣を表敬し、二国間関係、BHのEU加盟に向けた改革プロセス等につき意見を交わした。ボシュニャク民生大臣からは、BHのEU加盟に向けた改革実施の重要性が指摘されるとともに、これまでの日本の支援に対する謝意及び今後の支援への期待が述べられた。



(写真: 杵淵大使とボシュニャク民生相)

●コナコビッチ外務大臣表敬(26日)

杵淵駐BH日本大使はコナコビッチ外務大臣を表敬し、日・BH関係、BHの改革プロセス等につき意見を交わした。杵淵大使は、今後のBHの改革努力を支援していく旨述べた。コナコビッチ外相からは、これまでの日本からの支援に対する謝意と共に、経済、文化、スポーツ、科学技術等の分野でのさらなる協力への期待が述べられた。



(写真: 杵淵大使とコナコビッチ外相)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●産業生産指数

2022年3月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比0.9%のマイナス、前年同月比で9.6%のマイナス。

●雇用／失業率

2023年2月の失業者登録数は35万5,211人(うち女性20万6,245人)で、前月比0.2%マイナス。前年同月比で5.5%マイナス。

●平均給与

2022年2月の平均給与(手取り)は1,211 KMで、前年同月比で14.4%のプラス。

●消費者物価指数

2022年3月の消費者物価指数は前月比で0.4%のプラス。また、前年同月比で平均10.3%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比で平均0.9%の上昇。

(2) 経済政策・公共事業

●BHエネルギーサミット2023の開催(26日～28日)

26日～28日、ネウム(BH南部、アドリア海沿岸)にてBHエネルギーサミット2023が開催され、BH政府関係者及び当地米国、ドイツ、チェコ、EU大使等が出席した。開会式ではクリシュトBH閣僚評議会議長がスピーチを行い、閣僚評議会はエネルギー移行を今後の優先課題と位置づけていると述べ、ガス輸送網の全国的な発達及びガス供給源の多様化が必要である旨指摘した。

(3) 経済協力

●エネルギー価格高騰を受けた一般家庭支援等を含むEUの大規模支援策(16日)

16日、BH閣僚評議会は、EUが全額出資

する7000万ユーロ相当のエネルギー分野での支援パッケージに基づく行動計画を承認した。EUの同支援を通じ、ロシアによるウクライナ侵略に起因するエネルギー価格上昇で困窮するBH一般世帯及び中小企業への支援(それぞれ、5000万ユーロ、1000万ユーロ規模)、BHのエネルギー効率改善支援(2000万ユーロ)が実施される見込み。

(4) 民間セクター

●労働力の国外流出に関するBH連邦雇用主協会の警告(6日)

6日、BH連邦雇用主協会(BH連邦において、2万以上の企業が参加する大規模経済団体)は、質の高い労働者の国外流出を含むBHの労働力状況の悪化を警告するプレスリリースを発出した。同協会は、BH連邦政府及び連邦議会等の行政府・立法府レベルにおいて、給与の増額や社会保障費の控除率引き下げ等、労働力流出防止に係る措置の検討が進んでいない点を指摘し、早急な対応を講じるよう求めた。